

暮らし+リンク

「暮らし+リンク」は、天然住宅の情報や活動報告、みなさまが持っている情報を発信し、`健康的な暮らしの交流の場`となることを目指して作ったニュースレターです。このニュースレターを通じて、皆様のお役に立てる素敵な情報をお届けしたいと思います。ぜひ、読んで楽しんでください。

ご意見、ご感想、掲載希望の情報もお待ちしています！！



■天然住宅 竣工報告

3月9日 松戸O様邸のお引き渡しをしました

お引渡しは、家づくりの最終段階です。もうお打ち合わせもありませんし、現場でお会いすることもなくなると思うと、少し寂しい気持ちもします。それでもこれからすぐに、お引越して、ここでの生活が始まると思うと、とても晴れやかな気持ちでもあります。O様の二人のお子様も、元気に走り回る姿を想像すると、とても嬉しいです。



今回施工をしてくださった松戸の工務店サンヨーホームさんはとても信頼できる工務店です。もともと安全な住宅をつくらうと考えられ、2年前からずっと一緒に仕事をしたいと思っていたところ、今回やっと実現しました。お引渡しには、会長、社長もお越しになられて、最後の挨拶をしてくださいました。「建築した家は我が子のように。その家をお引渡しするので寂しい気持ちもしますが、それ以上に喜んでいただくのが嬉しい。」と会長。

「上棟からちょうど4ヶ月経ち、お引渡しになりました。今日まで家づくりを一緒にしてきましたが、これからがまた新たなスタートです。実際にO様が住み始められるのはこれから。これからが本番です。無垢の素材などは季節によってそりがでたりすることもあります。それをメンテナンスしながらより豊かな生活をしていただきたいと思っています。そのために今後もフォローをしながら良き関係を築いていきたいと思っています。」と金本社長からも素敵なお言葉をいただきました。



お引渡しはゴールではなくて、スタートですね。今後もなんでもご相談いただきたいと思っています。建て主さまの声は、今後の天然住宅の発展に寄与することです。そんな建て主さまは、我々のような小さな会社を選んでくれた大切な理解者です。今後恩返しをしていかないといけないし、一番に大切にしていきたい存在なのです。(田中竜二)

目次

- 天然住宅竣工報告
- 陸前高田復興住宅プロジェクト
- 田中優のオフグリッドセミナー
- 今後のイベント
- 天然住宅バンク近況報告
- 天然住宅ものがたり
- ~私の生き方×暮らし方~

今月の表紙の写真は、本誌最終ページ「天然住宅ものがたり」にご登場いただいた浦岡家の子どもたちです。

【発行元】

一般社団法人 天然住宅
〒152-0031
東京都目黒区中根 1-10-18
TEL 03-5726-4226
FAX 03-3725-5652
メール info@tennen.org

■陸前高田復興住宅プロジェクト

気仙大工組合と建築中。まもなく竣工！

今、天然住宅では陸前高田で気仙大工組合の方々とともに復興プロジェクトを立ち上げ、そのお手伝いをしています。天然住宅が以前から行っている一気通貫のビジネスモデルを気仙沼地域でも実践し、家や山を中心に、地域が復興していける仕組みづくりをしています。もともとこの地域にあった大工の技術を再生し、継承していく目的もあります。現在、その足がかりとなるモデルハウス兼事務所を建築しており、もうすぐ竣工を迎えるところです

震災以来、はじめて津波の被害のあった地域へ訪れました。海から高台までの数百メートルにわたり、駅や公共施設、もちろん家も、残らずなくなってしまっていました。限られた道路だけがその機能回復しています。初めて来たぼくにはここにまちがあり、暮らしがあったことが信じられないほどです。でも、今もここに住んでいる方々の目には、震災以前の面影が写っているに違いない。そう思うととても切なく、言葉がありません。

今回一緒に活動している気仙大工組合は歴史ある大工の集団です。船大工が多かった地域で、その技術を継承した大工がたくさんいます。伝統工法の仕口継手などを利用した手刻みの構造や、木材の造作などはお手のものです。「建て方」では、腕の見せどころとばかりに、手慣れた手つきでリズムカルに組み上げていったそうです。手に、頭に、心に昔からの大工の血が色濃く残っています。このまちに今後、東京の大手メーカーの家がたくさん建ってしまうのでは、とても寂しいと思います。伝統は誰が覚えておけるのでしょうか。



復興の主役には、現地での担い手になって欲しいと思います。今回のプロジェクトでも重要なのは、気仙大工が主役になるということ。彼らの手によって、復興がはじまり、伝統が守られていくようなモデルにしていきたいと思います。

帰り際、以前天然住宅も関わらせてもらった前浜コミュニティセンターに立ち寄りしました。次の日が地域の祭りということで準備をしているところでした。聞くと、なんとこのセンターは、落成式から約180日間、2日に1回位の頻度で利用されているのだそう。もともと頻度高く利用されていたセンターでしたが、津波によって一時的に失われてしまいました。しかし、コミュニティの努力により、今は当たり前だった日常が取り戻されています。ここにある当たり前の日常はコミュニティの努力と結束の賜物であり、それまで以上の価値があるようにみえます。（田中竜二）

■田中優のオフグリッドセミナー

Ustreamにてご視聴いただけます

3月22日、横浜市戸塚区のお寺「善了寺」で、NPO法人カフェ・テラ・テラさんと一緒に田中優のオフグリッドセミナーを開催しました。本堂を埋め尽くすほど、たくさんの方にお越しいただき、本当に嬉しく思います。

当日の様子はUstreamでご覧いただけます。参加できなかった方や、再度内容をご確認したい方は、ぜひご覧ください。

◆田中優のオフグリッドセミナー①

<http://www.ustream.tv/recorded/45159641>

◆田中優のオフグリッドセミナー②

<http://www.ustream.tv/recorded/45164714>

NPO法人カフェ・テラ・テラについて→<http://ameblo.jp/cafedelaterra/>



■今後のイベント

詳細はホームページでご確認ください

■4/26（土） お住まい見学会 @埼玉県・さいたま市

埼玉県さいたま市にて、築 4 年のお住まい完成見学会を開催いたします。延床面積 24 坪の企画プランの建物です。10 時 30 分～12 時。場所はさいたま市北区（JR 高崎線「宮原駅」からバスで 10 分）です。

■5/17（土） お住まい見学会 @神奈川県・南足柄市

神奈川県南足柄市にて、築 10 年を過ぎた経年変化の美しいお住まい完成見学会を開催いたします。車いすでも生活がしやすいバリアフリー設計です。午後の部のみの開催。場所は南足柄市岩原（大雄山線「岩原駅」から徒歩）です。

■5/23（金）～25（日） 田中優と行く！皮むき間伐ツアー @宮城県・栗駒

毎年恒例行事となりました、栗駒・皮むき間伐ツアーのお知らせです。皮むき間伐は林業再生のためのひとつの試みです。素人でも簡単に楽しく、「間伐」を有効にお手伝いできる方法です。簡単につるっとむけるので、やみつきになりますよ。植林・薪割りの体験もできます。現地集合の 3 日間のツアーです。

■6/15（日）暮らし+リンクセミナー「お金のプロがすすめる お金上手な生き方」

「お金はこうして殖やさない」「医療保険はすぐやめなさい」などの著書で知られる、ファイナンシャルプランナーの内藤真弓さんを招き、「お金上手な生き方」についてお話いただきます。貯金、保険、教育費、住宅ローンなど、お金の悩みをお持ちの方はぜひ！現代社会のお金の流れの問題点について、田中優のお話もあります！

■天然住宅バンク近況報告

今から 2 年以上前、天然住宅に 1 通の手紙が届きました。送り主は現在、滋賀県東近江市で天然住宅を建築中の M さんです。手紙の内容は、天然住宅の取り組みにとっても共感し、いつか東近江の地で天然住宅を建てたいと思っていること。ゆくゆくはその地に、自然エネルギーを基礎とし、食糧自給と、自然の中での子育て、高齢者や障害者も共に暮らせる相互扶助の共生社会を作りたいというものでした。

便箋用紙にびっしりと書かれた文字が印象的で、何よりその熱意に心打られました。代表の相根も共感し、彼の想いに応えられるプロジェクトを作りたいと、さっそくやりとりが始まりました。それは「東近江エコビレッジプロジェクト」として、少しずつですが実現に向けて進みつつあります。

そしてまもなく自宅が完成します。天然住宅バンクでは建設資金の一部を融資しました。M さんは現在 71 歳、現役のお医者さんです。返済能力はもちろん、その人柄に惹かれ、理事全員満場一致で融資審査を終えました。

四季折々、M さんからは手紙やメールが届きます。「半農×半医者」生活を送られていることもあり、農作業の苦勞や楽しさが写真入りで綴られています。生き生きと



楽しく豊かに暮らしている様子、東近江という場所の雰囲気の良いも伝わってきてとても心が和みます。このご縁を大切に、天然住宅バンクとしても M さんの今後の暮らしを楽しみに見守っていききたいと思います。（井上あいみ）

バンクよりお知らせ

天然住宅バンクでは、組合員を随時募集しています。私たちの活動に興味を持っていただける方、まずはホームページをご覧ください。
<http://www.tennenbank.org/>

活動の詳細、出資方法についてもこちらに記載しています。

【次回の天然住宅バンクミーティングのご案内】

- 日時 4月28日(月)
午後7時～午後9時30分
- 場所 新宿ASKビル4F会議室
(東京都新宿区歌舞伎町2-19-13)
- 参加費 無料
- 申込み先
<http://tennen.org/bankentry.html>
または、info@tennenbank.orgまで。

※途中参加・退席も可能です。

■天然住宅ものがたり～私の生き方×暮らし方～

30年経っても消えない「シロアリ駆除剤」の有毒性

千葉県市川市 浦岡さんご家族

浦岡さんご夫婦には、今年9才と7才になる息子さんがいます。ふたりとも生まれつき重度のアトピー。それに加え、喘息や食物アレルギーも持っています。痒がる息子たちの体を夫婦交代で夜通し掻き続ける日々が続いていました。

奥様の真理子さんが、代表・相根の講演を聞いたのは今から10年以上前。「シロアリ駆除に使われる有機リンが、サリンの親戚のような化学物質」だと知った時の衝撃は今でも覚えているそうです。それから年月を経て、自宅の建て替え時期がきた時、浦岡さんは真っ先に天然住宅に相談しました。築30年になる古家の床下に潜った相根が言ったのは、「シロアリ駆除剤の臭いがまだ残っていますよ」の一言。一度使えば年月を経ても消えない。子どもたちの健康を考えても、天然住宅を建てるしかない！と決意しました。

しかしネックになったのはお父様の説得です。公認会計士であるお父様はこれまで大小関わらずたくさん会社を見てきました。大企業ですら倒産していく時代。大切な家づくりを託す会社に「安定性」を求めるのは子を思う親心。しかしどうにか分かってほしいと、相根のコンサルティングに同席してもらいました。するとお父様の考えが一変したそうです。帰り道、「オレは相根さんに惚れた！！」と、今度は強力な応援者になってくれました。「多くの健康住宅は、悪いものの引き算。でも天然住宅はそもそも悪いものを使わない。いいものだけの足し算なんですよね。考え方がとてもシンプルだし、言っていることに嘘や矛盾がない。何より父は相根さんの人柄に惹かれたんです」。

子どもたちが「心地よさ」を素直に体験できる家

浦岡さんの家が完成したのは、2011年4月。東日本大震災のわずかひと月後でした。震災当日はたまたま現場監督と設計士が現場チェックをしていました。「あれ、地震かな？」という揺れを感じた後、外に出て初めてその被害の大きさに気付いたそうです。大きな地震があっても家の中にいれば大丈夫、そう実感した出来事でした。お引渡しの翌日、代表の相根のもとに浦岡さんから一本の電話がありました。「全身アトピーの息子たちが、初めて朝までぐっすり眠れたんです。添い寝していつでも掻けるように準備していた私の心も穏やかになりました。本当にありがとうございました」。

浦岡さんは言います。「子どもは本能で生きているのでとても素直。その息子たちが天然住宅に初めて足を踏み入れた日、着ている服を全部脱ぎ出し裸で床の上を転がりだしたんです。気持ち良さを本能で分かって、それを体験したんでしょうね。長男は、『学校で嫌なことがあっても、この家に帰ってきたら全部なくなる』と言い、次男は『完全に気持ちいい！』という名言を残してくれました。以前は、小児科、皮膚科、耳鼻科と病院通いの日々でしたが、去年は歯医者に行っただけ。体もどんどん強くなっているんですよ」。また、花粉の季節は近くに住むお父様が出勤前必ず家に寄っていくのだそうです。「天然住宅は花粉症患者にとってのシェルターだと言っていました。そのすぐ後、やっぱりオレも建てる！と隣に天然住宅を建てたんですけどね(笑)」。

お子さんの喘息やアトピー、アレルギーなどで悩まれている親御さんは今の時代たくさんいます。その原因が「住宅に含まれる化学物質」かもしれない。けれどその可能性に気付いている人はほんのわずかです。その人本来の力を取り戻し、健やかな成長を手助けしてくれる力が天然住宅の家づくりにあるのだとしたら、もっとたくさんの人たちに伝えていきたい。少し大きですが、その役割が私たちにはあるんだと改めて思いました。(井上あいみ)



浦岡さんってどんな人？

ご夫婦と2人のお子さんの4人家族。2011年4月に千葉県市川市に天然住宅を建てられました。奥様は石油系化学物質を使わない安全素材で作った化粧品、日用品の販売をしています。子どもの健康や育児のことで、周囲の人から相談を受けることも多いそうです。今回のインタビューもこれまでの最長時間を記録。書きたいことの半分も記せずもどかしくて仕方ありません^^;



天然住宅
http://tennen.org

☆天然住宅 facebook もご覧ください！！